

NEWS RELEASE



2026年3月27日
株式会社エアロネクスト

エアロネクスト、新技術「ActiveWing[®]」を搭載した物流ドローン試作機を発表

～可動する補助翼付きマルチコプターにより高効率な長距離飛行を実現～

株式会社エアロネクスト（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 グループ CEO：田路圭輔、以下 エアロネクスト）は、安定した長距離飛行を実現する新技術「ActiveWing^{®*1}」を搭載した新型物流ドローンの試作機を開発し、発表いたしました。



新技術 ActiveWing[®]搭載の
新型物流ドローンの試作機（ホバリング時）



新技術 ActiveWing[®]搭載の
新型物流ドローンの試作機（着陸時）

本試作機は、エアロネクストの新技術「ActiveWing[®]」を搭載し、補助翼を備えたマルチコプター構造により飛行時に揚力を補助することで、従来のマルチコプター型ドローンに比べ長距離飛行と高効率な輸送性能を実現します。物流用途を中心に、監視、点検、空撮など幅広い用途で活用可能なマルチコース機体として開発を進めています。

また本試作機には、エアロネクスト独自の機体構造設計技術 4D GRAVITY^{®*2}を採用し、空力特性を最適化。安定性・効率性・機動性といった産業用ドローンの基本性能を向上させるとともに、物流用途における運搬性能を高めています。

本試作機は、イームズロボティクス株式会社と共同で研究開発を進め、2026年秋頃より、エアロネクストと子会社である株式会社 NEXT DELIVERY が国内複数地域で推進する新スマート物流 SkyHub^{®*3}の実装地域や各地の実証実験、SPL (SkyHub[®] Provider License)^{*4}事業者のドローンデポ[®]など、ドローン物流の現場に順次投入していく予定です。

【開発背景】

近年、物流分野におけるドローン活用への期待が高まる一方で、一般的なマルチコプター型ドローンでは航続距離や運搬重量、輸送効率の向上が課題とされています。

エアロネクストは、ドローンの研究開発において空力特性の最適化に注力し、その技術力を活かして、特に物流ドローンに求められる効率性と安定性を兼ね備えた飛行性能の実現に取り組んできました。

（詳細は[こちら](#)をご参照ください。）

本試作機は、こうした研究開発の成果として空力特性を徹底的に追求し、エアロネクスト独自の新技術を搭載した最新モデルです。

【新型物流ドローンの特長】

■ 新技術「ActiveWing[®]」による長距離飛行性能

ActiveWing[®]は、マルチコプターに補助翼を組み合わせることで飛行時の揚力を補助するエアロネクストの新技術です。機体が傾いた場合でも補助翼の仰角が一定に保たれる設計により、安定した飛行を維持しながら長距離飛行を可能にします。

■ 4D GRAVITY[®]による高い安定性と輸送性能

エアロネクスト独自の機体構造設計技術 4D GRAVITY[®]により、飛行姿勢や状態に依存しないモーター回転の均一化や重心制御を実現。安定性・効率性・機動性を高め、物流用途に求められる高い運搬性能を実現します。

NEWS RELEASE

■物流用途に最適化された機体設計

本試作機は荷物の上入れ下置き機構を採用しており、置き配など柔軟な配送オペレーションに対応可能です。また、防水仕様の機体設計により、さまざまな環境下での運用が可能です。さらに、多数機自動遠隔運航にも対応し、将来的には物流だけでなく、広域監視、設備・インフラ点検、空撮など多様な用途での活用を想定しています。

エアロネクストは今後も、技術と知財をベースにドローン物流の社会実装を推進し、低空域を活用した空のインフラの構築を通じて、次世代の移動産業の発展と社会課題の解決に貢献してまいります。

以上

【ニュースリリースへの報道機関からのお問い合わせ】

株式会社エアロネクスト 広報部 (担当：伊東) Tel: 03- 6455-0626 Email: info@aeronext.com

資料

*1 新技術 ActiveWing®

4D GRAVITY®の技術的思想に基づき発明されたマルチコプター機体に取り付けられた補助翼を独立変位させて空力特性を最適化する構造技術。補助翼による揚力でプロペラ推力を補助することで、機体の操作性を損なうことなく航続距離を延伸。巡行中も姿勢制御に必要なプロペラ回転数を維持するため、プロペラと補助翼による効率性と安定性を両立させる独自開発のハイブリッド構造。

*2 機体構造設計技術 4D GRAVITY®

飛行中の姿勢、状態、動作によらないモーターの回転数の均一化や機体の形状・構造に基づく揚力・抗力・機体重心のコントロールなどにより空力特性を最適化することで、安定性・効率性・機動性といった産業用ドローンの基本性能や物流専用ドローンの運搬性能を向上させるエアロネクストが開発した機体構造設計技術。エアロネクストは、この技術の特許化し 4D GRAVITY®特許ポートフォリオとして管理している。4D GRAVITY®による基本性能の向上により産業用ドローンの新たな市場、用途での利活用の可能性も広がる。

*3 新スマート物流 SkyHub®

エアロネクストとセイノーHD が共同で開発し展開する、既存の陸上輸送とドローン物流を繋ぎこみ、地上と空のインフラが接続されることで、いつでもどこでもモノが届く新スマート物流のしくみ。ドローン配送が組み込まれた、オープンかつ標準化したプラットフォームで、ドローンデポ®を拠点に、車とドローンを配送手段として異なる物流会社の荷物を一括して配送する共同配送、買物代行、フードデリバリー、医薬品配送など、地域の課題やニーズに合わせたサービスを展開、提供する。

SkyHub®は、人口減少、少子高齢化による労働者不足、特定過疎地の交通問題、医療問題、災害対策、物流弱者対策、公共交通の維持等、地域課題解決を図ることができるよう、物流網を再構築するソリューションであり、住民の利便性や生活クオリティの向上による地域活性化の推進や、持続的な地域コミュニティづくりのうえでも有意義なものといえる。

*4 SkyHub® Provider License (SPL)

エアロネクストの戦略子会社株式会社 NEXT DELIVERY が山梨県小菅村や北海道上士幌町をはじめとする国内複数地域で展開してきた新スマート物流 SkyHub®のノウハウやツール、オペレーションの一部を第三者にライセンス提供するしくみ。

【株式会社エアロネクストとは】

エアロネクストは、「人生 100 年時代の新しい社会インフラで、豊かさが隅々まで行き渡る世界へ。」をミッションに掲げ、低空域を活用した今までにない新たな価値創造を推進しています。重力、空力特性を最適化することで、産業用ドローンの基本性能や物流専用ドローンの運搬性能を向上させる独自の機体構造設計技術 4D GRAVITY®を提供する技術ライセンス事業、ドローン関連技術の共同開発や開発受託を行う共同開発事業を展開しています。また、戦略子会社株式会社 NEXT DELIVERY を通じて、地域の物流を集約化、効率化していく新スマート物流 SkyHub®事業、日本有数のノウハウと実績を持つチームが最先端の技術とスキルで推進するドローン運航事業を展開しています。SkyHub®事業は、すでに国内の複数地域で社会実装され、多くの課題を抱える地域物流の課題解決の貢献を推進しています。

*会社概要は <https://aeronext.co.jp/about/company/> をご覧ください。

*エアロネクストおよびエアロネクストのロゴおよび、NEXT DELIVERY, 「4D GRAVITY (R)」「ActiveWing (R)」「SkyHub (R)」は、株式会社エアロネクストの商標です。

*その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。